

令和5年度 東光こども園における自己評価

令和5年10月

学校法人 東光学園 東光こども園

【評価】

5：優れて達成している 4：やや優れて達成している 3：概ね達成している

2：やや達成が不十分 1：全く達成できていない

	評価項目	内容		
1	保育の計画性	① 園の教育理念や教育目標を理解する	4	<ul style="list-style-type: none"> ・主体性を意識し、こどもの発達に合わせた環境設定を工夫して整えることができた。 ・PDCA サイクルを意識して職員間で話し合い教育重点目標を設定している。 ・キャッチフレーズを行事に取り入れ、保育内容もこどもの主体性を大切にしたいものになっている ・教育要領について学びあう機会を今後意識的に作っていく。 ・異年齢での関わりをもっと増やしていきたい。
		② こども園教育要領を読み、園長や保育者と話し合っ理解に努める	3	
		③ 指導計画は幼児の発達に即して幼児期にふさわしい生活を展開できるように具体的に作成する	5	
		④ 安全で清潔感のある環境を構成する	4	
		⑤ 幼児が自ら活動を展開していけるような場や空間の構成をする	5	
		⑥ 幼児の発達や生活を見通した環境の構成をする	5	
		⑦ 異年齢の幼児が自然に交流できるような環境の構成をする	4	
		⑧ 自分の保育を評価・反省することで、次の保育にいかす	5	
2	保育の在り方・幼児への対応	⑨ 園内に危険な箇所がないか、危険な遊び方はしていないか常に配慮し、危険が予測される場合は安全な遊び方について幼児と一緒に考える	3	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもたちの「やってみよう」という思いを引き出し、受け止めて関わる事ができている。 ・情報共有ツールの利用を始めたことで効率よく情報共有が可能になった。 ・廊下が回遊式でつい走りがちでけがが起きやすい。職員間でも話し合うとともに、こどもたちにも問題提起し、自分の園をどうしたら過ごしやすいか一緒に考えていきたい。
		⑩ 幼児の話をよく聞き、幼児の思いを受けとめる	5	
		⑪ 個々の幼児の発達の姿や課題について、見通しを持って理解する	4	
		⑫ 幼児同士の関わり方の姿を捉え、そこでの幼児の育ちを理解する	5	
		⑬ 幼児の思いや考えに共感しながら、幼児と一緒に活動する	5	
		⑭ 幼児の一人一人のありのままの姿を受け入れ、その子のよさを認めるように心がける	5	
		⑮ 幼児が遊びを深めていくための、適切な援助をするように心がける	5	
		⑯ 幼児同士のトラブルに対し、適切な対応をするように心がける	5	
		⑰ 幼児のことについて保育者同士で話し合い、共通理解をするように心がける	5	

3	保育者としての資質の能力	⑱ 保護者に対し、幼児や自分の保育のことをわかりやすく話し、保護者との信頼関係を築くよう努める	5	<p>・週案の見える化で他クラスの様子がわかり、園全体の一体感へとつながっている。</p> <p>・日々の遊びや育ちをおたよりを通して発信できた。</p> <p>・個人情報、重要書類の管理を改めて見直した。</p> <p>・子どもたちの挨拶がより元気にできるよう取り組みたい。</p>
		⑲ 職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守る	4	
		⑳ 教職員全員で一つのチームであることを自覚する	5	
		㉑ 幼児の成長を自分の喜びと感じる	5	
		㉒ 幼児と一緒に生活を創り出すことを楽しいと感じる	5	
4	保護者への対応	㉓ 保護者に個々の幼児の様子を伝える工夫をする	4	<p>・担任からだけでなく、他の職員からも子どもの様子を伝える機会があることがよい。</p> <p>・職員同士気軽に相談、助言しあえる雰囲気がある。</p> <p>・送迎時を使ってお話ししたり、バス通園などでなかなか会えない家庭には電話をし家庭とのコミュニケーションをとっている。</p>
		㉔ 保護者からの相談や要望には心を開いて、よく話を聞くように心がける	5	
		㉕ 電話は、相手が見えないために誤解が生じやすいことを心に留め、簡潔にわかりやすく話すことを心がける	5	
		㉖ 話の内容によっては教職員全体で検討し、共通理解のうえで対処する	5	
5	地域の自然や社会とのかかわり	㉗ 地域の人々と親しくあいさつや会話を交わすように心がける	4	<p>・保幼小中連携、子育て支援ともに活動が活発になってきているが、担当職員のみに関わりとなってしまいう。情報の共有をとっていく。</p>
		㉘ 小学校の教育内容について理解するよう努める	3	
		㉙ 子育ての支援や地域開放について具体的な形や内容を理解する	3	
6	研修と研究	㉚ 研修会や研究会には自己課題をもって進んで参加する	5	<p>・自分の興味ある分野の研修を受講し、より専門性を高めていきたい。</p> <p>・研修報告から、活かせるところはすぐに保育に反映させている。話し合いの時間をもっと持てるによりよい保育につながる。</p> <p>・職員全員で受けられる研修を定期的に受けたい。</p>
		㉛ 自分の保育について自己課題をもって評価・反省を行う	5	
		㉜ 保育者としての専門性に関する研修・研究を行う	4	